

平成 21 年 4 月 21 日現在

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2006～2009

課題番号：18520233

研究課題名(和文) 英語圏児童文学の視座から見たカナダ・オーストラリア児童文学研究

研究課題名(英文) A Study of Canadian and Australian Children's Literatures from the
Perspective of Children's Literature in English-speaking Countries

研究代表者

桂 宥子 (KATSURA YUKO)

岡山県立大学・情報工学部・教授

研究者番号 10254583

研究分野：英語圏児童文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード：児童文学、カナダ、オーストラリア、英語圏児童文学

1. 研究計画の概要

研究代表者は「英語圏児童文学」という視座から、英語で書かれた児童文学全体の再評価が不可欠であると考え、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、インド、パキスタン、スリランカ、マレーシア、シンガポール、アフリカ、カリブ海域、西インド諸島などにおける児童文学の調査・研究を将来にわたって順次行いたいと考えている。本研究では、特にカナダとオーストラリアの児童文学を「自然観」と「異文化受容」という二つの視点から比較対照することにより、等しくイギリス植民地として出発し、共通の母語をもつ両国が、なぜ、また、どのようにしてそれぞれ独自の児童文学を発展させていったのかを明らかにしたい。さらに、ニュージーランドとインドの児童文学についても準備的研究を開始したいと考えている。

2. 研究の進捗状況

(1) カナダとオーストラリアの児童文学比較研究

研究協力者の姫路独協大学牟田おりゑ教授と定期的に意見交換を行い、カナダとオーストラリアの児童文学について、「自然観」と「異文化受容」という二つの視点から比較研究を行った。この成果の一部は桂 宥子編著『英米絵本史』（ミネルヴァ書房、2009. 10）に発表予定である。また、「現代オーストラリア児童文学—地域色をめぐって—」として、牟田教授がイギリス児童文学会中部支部にて発表する（2009. 5. 16）。

(2) データベースの作成と分析

建国期カナダ・オーストラリアを代表する

12 作品及び L.M. モンゴメリの日記、C.G.D. ロバーツの書簡集のデータベースを作成した。自然に関する単語の語彙分析を行い、イギリス生まれの作家とカナダ、オーストラリア生まれの作家の自然観について考察した。

モンゴメリ日記のデータベースを用い、コンピュータ分析により、彼女の移動情報を抽出・提示した。この成果の一部は「文学作品における登場人物の移動情報抽出・提示システムの提案」として発表した（第 10 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム, 広島市立大学, 2008. 11. 22）。

(3) 海外調査

カリフォルニア大学バークレー校、スタンフォード大学図書館にて、英語圏児童文学に関する研究資料の収集を行った。

(4) 国内調査

カナダ大使館図書館、追手門学院大学オーストラリア・ライブラリー等を利用して、両国の児童文学、絵本に関して調査・研究及び資料の収集を行った。

(5) 準備的研究

国際子ども図書館、ユネスコ・アジア文化センター図書館にて資料収集を行い、ニュージーランドとインドの児童文学について、準備的研究を開始した。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

(理由)

この 3 年間、2006 年度基盤研究(C) (一般) 研究計画調書の「研究計画・方法」にそって、

研究を進めてきたため。

4. 今後の研究の推進方策

平成 21 年度の研究計画に従い、以下の項目について、研究協力者である姫路獨協大学牟田おりぬ教授と比較研究をおこなう。

(1) 異文化受容

- ① 18-19 世紀、植民地化の過程における、ヨーロッパ人の先住民文化に対する見方。
- ② フェアリー・テール、ファンタジーなどに表れたファーストネーションズやアボリジニ文化の受容
- ③ 多文化主義の現状と児童文学
- ④ 多文化主義の現状と絵本

(2) データベースの分析

平成 18 年度～平成 20 年度に作成したカナダ・オーストラリア児童文学作品データベースの語彙分析の結果をふまえて、研究のまとめを行なう。

(3) 海外調査

カリフォルニア大学の図書館において、英語圏児童文学に関する作品や研究書を集中的に収集する。

(4) 国内調査

カナダ大使館・オーストラリア・ライブラリーなどを利用して、調査・研究及び資料の収集を行なう。国内のカナダ・オーストラリア児童文学研究者と研究成果と情報を交換する。さらに、インド及びニュージーランドの児童文学に関して、国際こども図書館などを利用して作品、研究書、資料、参考文献を収集する。

5) まとめ

本研究の成果をまとめ、研究成果報告書を作成する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 6 件)

- ① 桂 宥子、「英米絵本の発展 — 印刷技術の視点から —」、『岡山県立大学語学センター研究紀』、第 4 号、21-34、2006、無
- ② 桂 宥子、「ウォルター・クレイン絵本考」、『岡山県立大学語学センター研究紀』、第 5 号、15-21、2007、有
- ③ 桂 宥子、「新しい絵本論への挑戦」、『英語教育』、7 月号、92-93、2006、無

〔学会発表〕(計 1 件)

〔図書〕(計 3 件)

- ① 桂 宥子編著、『赤毛のアン』、ミネルヴァ書房、2008
- ② 桂 宥子編著、『英米の絵本』、ミネルヴァ書房、2006